

琵琶湖博物館グランドオープンについて

1 グランドオープンについて

10月10日（土）、第3期リニューアルとしてA展示室・B展示室をオープンする。

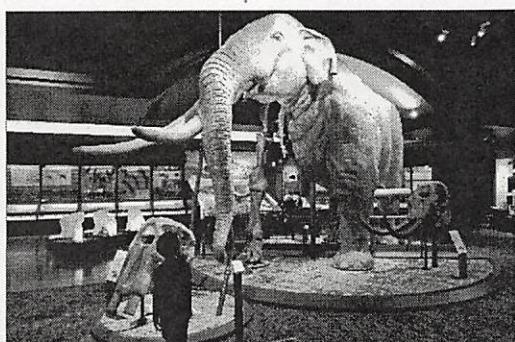
- ①内覧会を10月8日（木）10時から実施。
- ②オープニングセレモニーを10月10日（土）11時から実施。（知事、県議会議長および展示協力者の代表者によるテープカット）

2 第3期リニューアルの概要

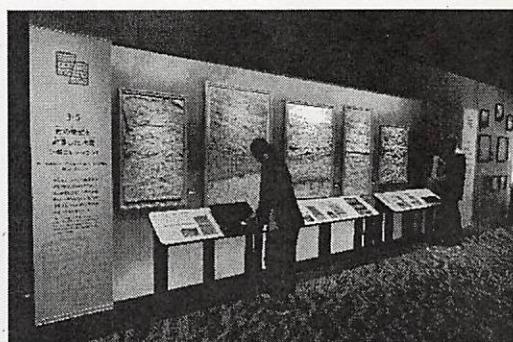
(1) A展示室

湖の400万年と私たち～変わり続ける琵琶湖～

「現在の環境が過去からの一連の変化によって成り立っている」との視点で紹介。新展示として、ツダンスキーゾウの左半身に生体を復元した国内博物館で唯一の半骨半身標本の展示、琵琶湖の生き立ちの情報が詰まった地層の標本などを展示。



〈ツダンスキーゾウ半骨半身標本〉

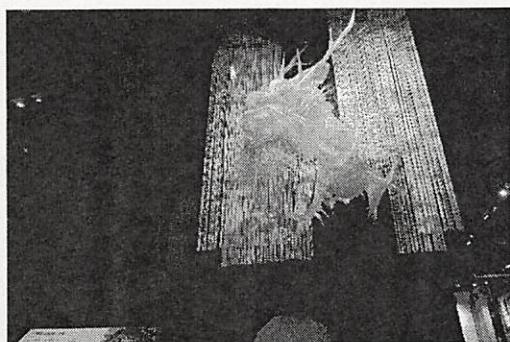


〈地層コレクション〉

(2) B展示室

湖の2万年と私たち～自然と暮らしの歴史～

「人と自然環境とがどのように関わってきたのか」との視点で紹介。新展示として、巨大な龍のオブジェの展示、丸子船にAR技術を用いてタブレット等を通じた視覚的な体験展示、国登録有形民俗文化財で国内最大級の漁撈用具や船大工道具などを展示。



〈龍のオブジェ〉



〈丸子船にAR技術を用いた展示〉



びわこの ちからのかづ 博物館。

2020
10/10
土

6年にわたるリニューアルがついに完了

琵琶湖博物館 GRAND OPEN



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

¥ 料金

観覧料金(常設展示) ※企画展示の観覧には別途料金が必要となります。

	個人	団体 (20人以上)	個人共通券 (草津市立水生植物公園 みずの森との共通券)	年間観覧券 俱楽部LBM
高校生・大学生	450円	360円	560円	900円
大人	800円	640円	890円	1,600円

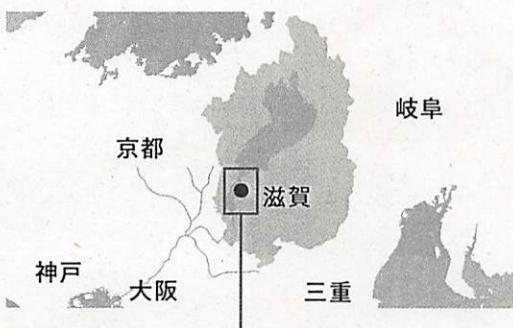
★常設展示の観覧料が無料の方

- ・未就学児童・小学生・中学生
- ・障害者の方(障害者手帳の提示が必要)
- ・県内に居住する65歳以上の方(証明となるものの提示が必要)

📍 アクセス

お車でのご来館

名神「栗東IC」から約30分、
名神「瀬田西IC」
または新名神「草津田上IC」から約35分。



公共交通機関でご来館 鉄道(JR)とバス(近江鉄道バス)

JR琵琶湖線「草津」駅下車。(新快速で京都から約20分)
JR草津駅「西口」2番バス乗り場から、近江鉄道バス、びわこ博物館行き(約25分)、「びわこ博物館」下車。徒歩すぐ。



開館時間・休館日

開館時間: 9:30 - 17:00 (最終入館 16:30)

※マイクロアクリウムのMicro Bar、おとなのディスカバリー、
ディスカバリールームは16:30で終了します。

休館日: 毎週月曜日(休日の場合は開館)、
その他臨時休館あり。

滋賀県立
琵琶湖博物館

T525-0001 滋賀県草津市下物町1091
TEL 077-568-4811 | FAX 077-568-4850
www.biwahaku.jp



琵琶湖博物館
Instagram



琵琶湖博物館
Twitter



琵琶湖博物館
Facebook



琵琶湖博物館
YouTube
チャンネル



琵琶湖博物館
ホームページ

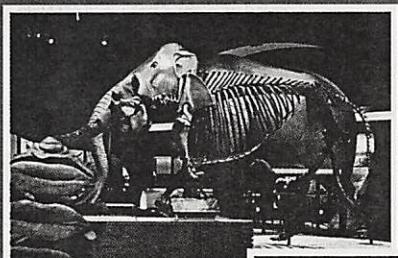
A展示室とB展示室の リニューアルが完了し、 ついに、琵琶湖博物館が **GRAND OPEN。**

2020 第3期リニューアル

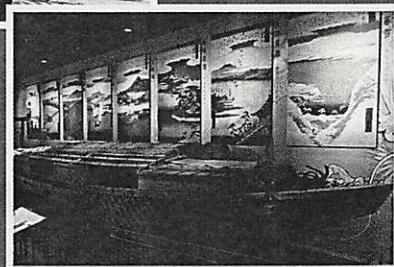
A展示室

B展示室

自然や人々の暮らしの移ろいと、
その関係が表現され、
琵琶湖の過去から未来への時代の流れが感じられる
展示へリニューアルしました。



A展示室



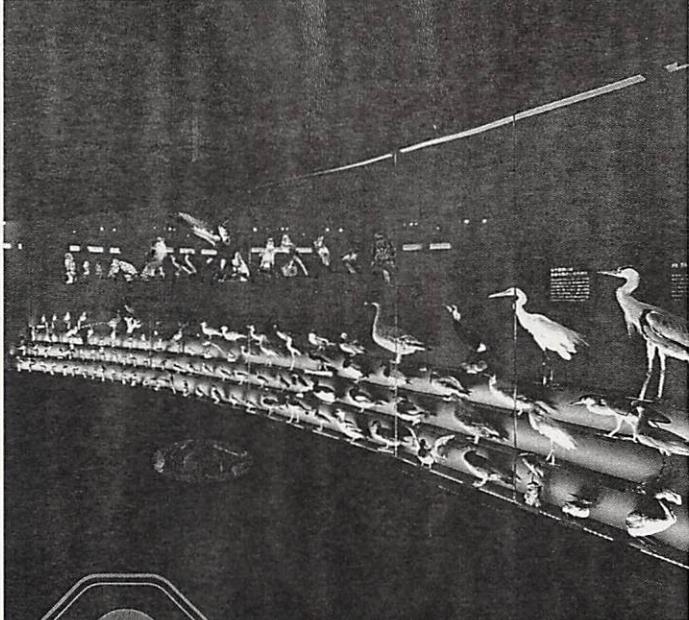
B展示室

生まれ変わった
びわこのちからの博物館。
ご来館を心よりお待ちしています。

**びわこの
ちからの
博物館。**

琵琶湖は400万年の昔に誕生し、
さまざまな変化をとげながら
今にいたっています。
長い歴史の中で、生き物も人も、
琵琶湖とともに生きてきました。
琵琶湖と生き物と人との、
長く深いつながりこそが、
「びわこのちから」です。

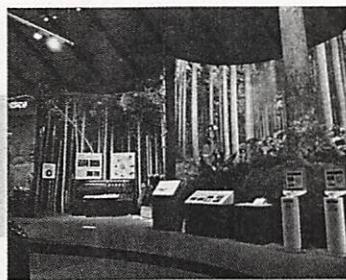
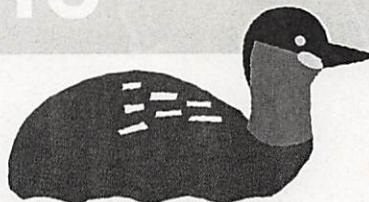
琵琶湖博物館に来ていただければ、
そのことがわかります。
日本で一番大きい
古代湖・琵琶湖、
そのちからをあなたの目で
確かめてください。



体感する琵琶湖と 私たちの関係

琵琶湖と人々の生活とのつながりが、さまざまな形でわかりやすく展示されています。

2016



日本で一番小さなネズミ、カヤネズミの姿も見られます。

森や川のジオラマを通して、動物や植物、人間との関係性を展示。



琵琶湖の湖魚料理や食文化を伝える、湖魚店の展示。



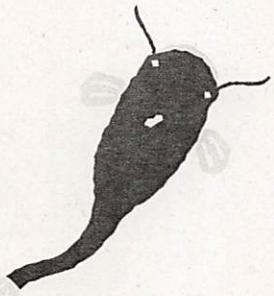
Micro Bar。

小さな生き物を顕微鏡で観察することができます。

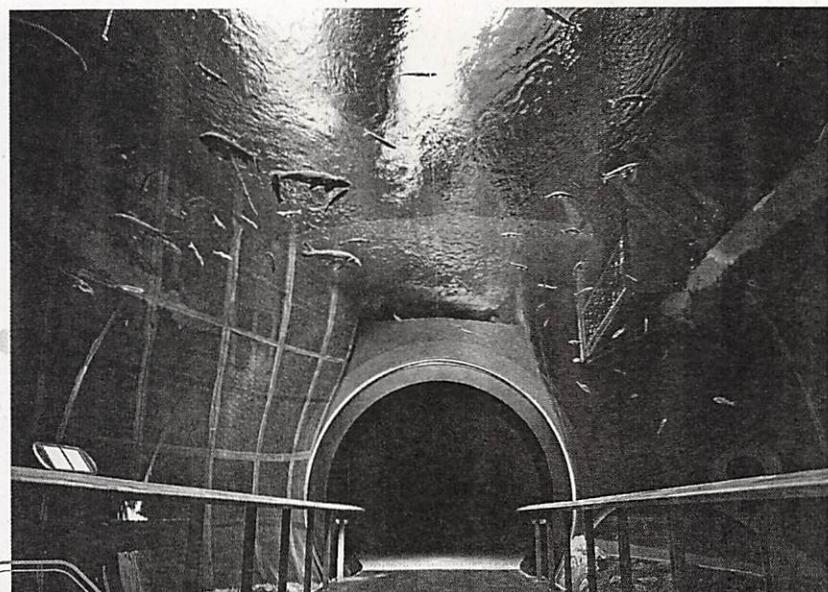
1st RENEWAL STAGE

2016

第1期リニューアル

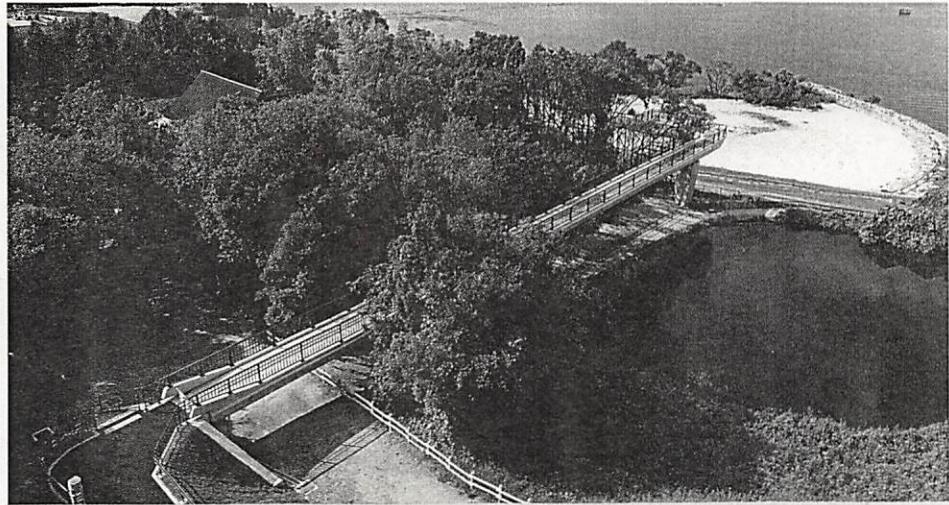


2016年にリニューアルしたC展示室と水族展示室。琵琶湖から田んぼや森林まで、身近な景観を入り口に、私たちの暮らしと自然や琵琶湖とのつながりを伝えています。本物の資料をふんだんに使い、魚に限らずさまざまな生物の展示や、フィールドを五感で体感できる展示が増えました。



琵琶湖に生息する生き物たち

淡水生物の展示としては国内最大級。トンネル状の大型水槽では、まるで水中にいるような気分が味わえます。



森や木の様子を上から観察できる空中遊歩道からは、琵琶湖や遠く比良山地を眺めることができます。

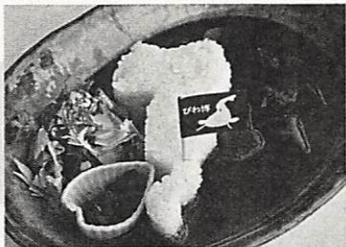
**来館者を屋外展示へと
いざなう**



2nd RENEWAL STAGE

2018

第2期リニューアル



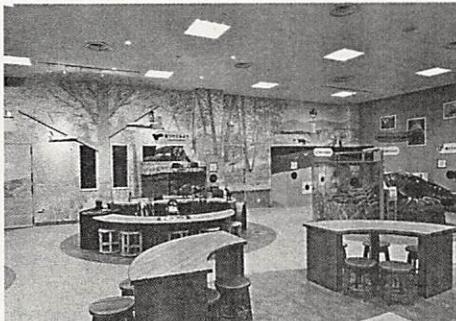
レストランでは、琵琶湖の幸を
楽しめるメニューも用意しています。

2018



五感を使って 体験&発見

子どもと大人が一緒に楽しめる
体験型の展示がいっぱいです。



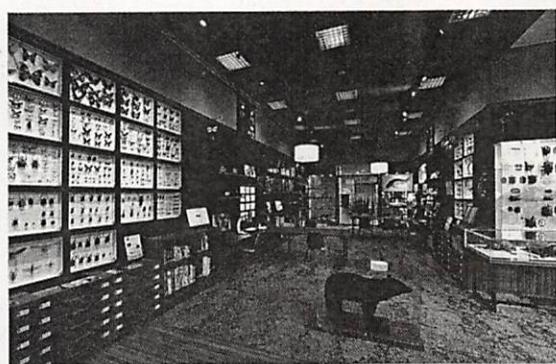
まさに琵琶湖博物館の入り口となる展示室です。

この巨大なザリガニは、
中に入ってハサミを
動かすことができます。



知的好奇心を刺激する

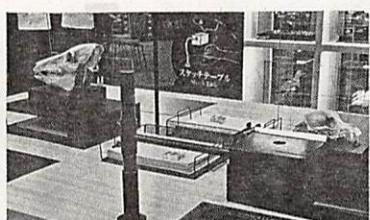
多種多様な標本を手にとって、顕微鏡で拡大して、じっくりと観察することができます。



博物館の中でも、ひときわ落ち着いたトーンの内装。



じっくりと観察して、
時間をかけて
スケッチできるコーナー。



3rd RENEWAL STAGE

2020

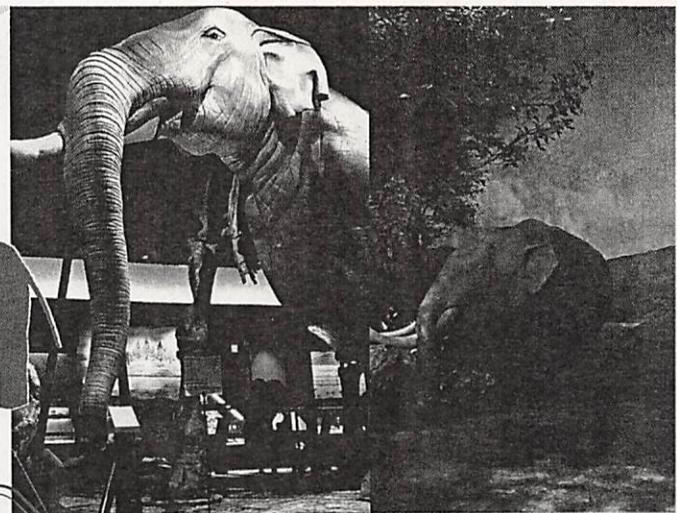
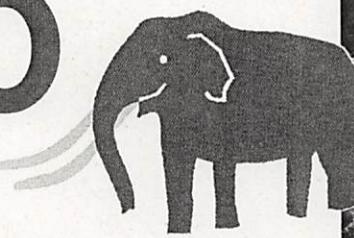
第3期リニューアル

第3期では、A展示室とB展示室が新しくなりました。

琵琶湖の生い立ちを紹介するA展示室では、

研究からわかった過去の環境や発掘された化石をもとに、400万年にわたる琵琶湖の環境の変化をひも解いていきます。

人と自然の関わりの歴史を紹介するB展示室では、発掘調査からわかった縄文時代の森での暮らしや、聞き取り調査から復元したかつての水辺の暮らしを、自然のシンボルである龍がナビゲートします。

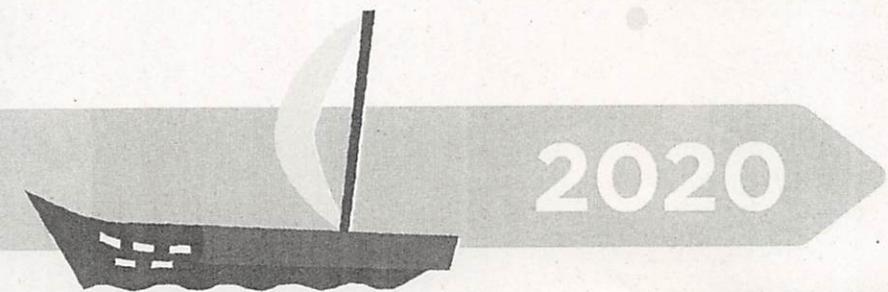


琵琶湖の生い立ちに迫る

約400万年前の中国にいたツダンスキーゾウの骨格化石とその生体を復元した半身半骨。このゾウに近い種のミエゾウが当時の湖周辺にいました。



約260万年前のゾウやシカがつけた足跡化石の発掘現場の雰囲気を体感。

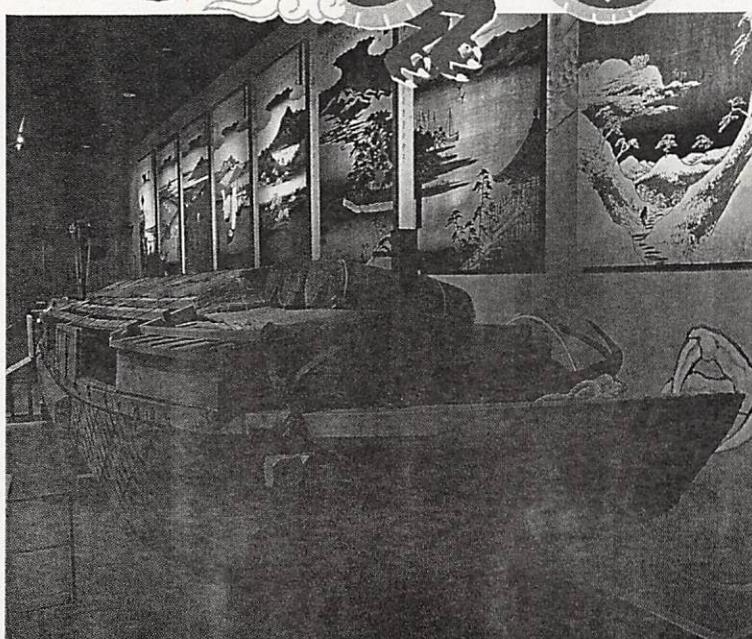


生き物をとるわざの世界を、たくさんの実物資料と等身大ジオラマで再現します。



龍とたどる自然と人の歴史

「森」「水辺」「湖」「里」を舞台に、自然とつきあってきた人の歴史を伝えます。



巨大な帆を立てて走る丸子船が体感できるAR。

館外でもみられるARアプリの説明は展示室で！